

川越市政だより

No.154 月1回10日発行一部2円(昭和32年6月10日)
発行所 埼玉県川越市役所 第三種郵便物認可

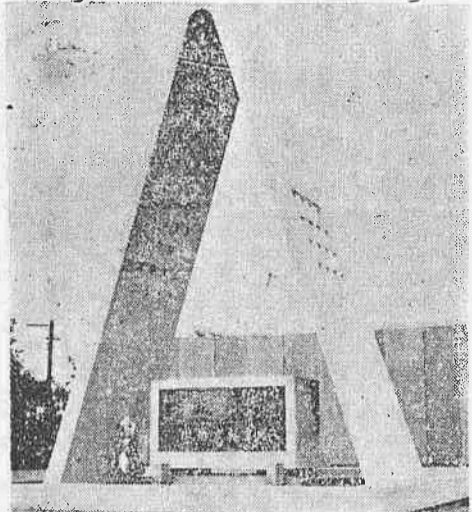
新聞印刷社 印刷

人口	76,600
男子	37,123
女子	39,477
世帯数	23,915
出生(6月中)	133
死亡(〃)	59
前月比	32人増

▲どき 15日(木) 7時半〜9時
▲ところ 水川神社裏
▲花火 打上げ1千発
▲わけ 20の敷合
なおこの日雨天の場合は、翌日になります。

8月のメロ (今月中)
▲家畜衛生月間 (20日まで)
▲自然を親しむ運動 (16日まで)
▲終戦記念日 (15日)
▲文化財保護法施行記念日 (29日)

15日は花火大会で
古くから大衆に親しまれてきた、夏の風物、恒例の花火大会は、この日も盛大に行なわれます。暑い夏の夕べを川越花火大会でお過ごしください。



川越市の新名所 慰霊塔が完成
遺族会など長い間の念願であった川越市慰霊塔が水川公園内に完成し、8月15日に入魂式を行ない、2千余柱の戦没者の霊をまつことになりました。工費は350万円、鉄筋コンクリートの屋根にはプリズムガラスがはめられ、火炎型噴水と七色の照明も備えられ、明るく清らかなこの建築物の誕生は、川越市の新名所として市民の目を惹きつけることでしょう。

ゴミの定時収集はじまる

週一回でまちをきれいに
清掃業務がととのった所から順次実施に努めておられます。この定時収集の方法はあらためてご説明いたします。収集場所(収集車が行く日)の時間、巡回(きまり)をお知らせいたします。家庭、事業所はごみ袋の持ち出しをとおこなっていただきます。各町内でこれですとよきものがありません、身辺に長い間ありません、今更だに比べ清潔環境はたいへんよくなりました。



め水分はできるだけきびきびして出してください。
三、灰はごみ袋に入れて、別の容器で定時収集に出してください。
四、危険物は1〜2月単位に一度一町内を単位として、別に集めますから定時収集には出さないでください。
五、臨時に大雨のごみが出た時は定時収集とは別に集めますから連絡してください。
注 従来のごみ箱は道路面から屋根内に移し、危険物も衛生にならないものごみ袋を利用ください。

市営1樽40円に 汲取料金を改定

いままで市の汲取料金は、業者の料金より、いく分安かったのですが、市民負担の公平をはかるため8月10日から次のとおり、市営分を、業者分と同じ料金に値上げすることになりましたのでご理解いただきたくお知らせいたします。

1樽	40円
半樽	20円

▲旧汲取料金の取扱い
8月末日までは、汲取りに行った際、差額金をいただいて汲取ります。なおそれ以後の旧券は、差額金を持って市役所においでになり、換印をうけて使用してください。

戦没者の妻に給付金 二十万円を十年間で

大戦の犠牲となって夫を失った戦没者の妻に対して、国では、十年間で二十万円の特別給付金を支給することになりました。この資格のある方は、戦没したのは昭和十一年七月七日以後、公務によって死亡した者の妻であったために、ことし四月一日現在で次のどれかの給付を受ける資格をもっている方です。
▼旧軍人軍属に属する公務扶助料。
▼遺族年金。
▼遺族給付金。

遺族援護法等が改正

こんな戦傷者遺族等援護法が改正されました。
1 遺族(被遺者、勤労学生等)の父母に対する遺族給付金は、いままで六十才以上であっても、扶養する者がある場合は支給制限がありました。これが改正によりなくなった。
2 遺族給付金の支給期間の制限がなくなりました。
3 また、遺族が公務上障害を受けて、または死亡した場合でも、これが戦時災害によるものでない場合は対象になりました。



なま引卒者は一に備えて、ロ一フ、洋傘、竹竿等持参してください。(竹竿は臨時所にも備えてあります。)

市民会館の寄付募集 みなさんのご協力を
市制施行四十周年の記念事業として、三月に竣工した川越市民会館の建設は、明年五月完成を期して、いま、急ピッチに進んでいきます。
この市民会館は、鉄筋コンクリート地下二階、地上三階で、延面積四千七百七十五平方メートル、館内には図書室、二百六十の一、事務室、会議室など七つをもち、近代的設備を誇る立派なもので、その完成は各方面から注目されています。
〇一世帯一年百円(二年分)期間 昭和四十年まで。
〇二世帯一年百円(二年分)から三年間で寄付いただくことになりました。したがって三万円でも一世帯二百円になります。

納貯だより
新設組合
組名 組合長
神山一 納税組合 桑原 ゆき
堀根 〃 戸田 松雄
赤原 〃 吉田 龍蔵
▼組合のうゝき
○菅原町一組合(長谷川晋氏)では七月十五日一回定時総会、全組合員に配品を配付。
○いすみ組合(門井卯吉氏)では七月十五日一回定時総会、全組合員に配品を配付。
○土松町組合(新井長治氏)では七月十五日一回定時総会、全組合員に配品を配付。
○三友組合(白根誠氏)では七月二十四日一回定時総会、全組合員に配品を配付。
○野田町組合(中島長政氏)では七月二十一日一回定時総会、全組合員に配品を配付。
【写真は上松江町組合、下は菅原町一組合の様子】

今月の納税
市、県民税 〇2期
8月31日までに
お納めください

全国戦没者追悼式
8月15日 正午には黙とうを
今次大戦の犠牲となって死した国民の数は約三百万人といわれ、今日東京ではこの追悼式を行ないます。正午には、職場で、家庭で、それぞれ黙とうをさしませましょう。

ここなら安全
入間川に天然プール開く
夏です。夏といえは水遊び。子供たちは水遊びに熱中しています。しかし、安全な水遊びの場を確保する必要があります。入間川には天然プールが開かれます。このプールは、川の水がきれいなので、安心して水遊びができます。また、プールには監視員が常駐していますので、安心して水遊びができます。入間川に天然プールが開くので、安心して水遊びができます。

交通安全
入間川に天然プール開く
入間川に天然プールが開くので、安心して水遊びができます。また、プールには監視員が常駐していますので、安心して水遊びができます。入間川に天然プールが開くので、安心して水遊びができます。

なま引卒者は一に備えて、ロ一フ、洋傘、竹竿等持参してください。(竹竿は臨時所にも備えてあります。)

備えあれば憂いも少なし

災害シーズンを迎えて

県政だより

わたしたちや、わたしたちの祖先が營々としてたたくわえた財産、そしてかけがえのない人命も一瞬のうちに失われてしまふ。これが災害の実体です。

多すぎる災害

わが国は四国海に囲まれ、加えて木と紙の家屋、火山脈の多い地質など、災害の直接、間接の原因となるものが多いに多すぎます。

防災会議の発足

昨年の七月、國では災害対策基本法を作り、この対策に本腰を入れたことになりました。

気象通報に注意

同じ県内でも平地と山林では気象通報が異なるので、災害時には気象通報が唯一のたよりになります。

冷静、適確な行動を

台風や水害などの大きな災害が起きてくると、小さな災害にも注意がされがちです。

警報で非常事態を予想

災害時の警報は重大な事態の発生を予想される場合に発せられます。

防災に自覚と協力を

これからの計画的な防災にあたっては、特にわれわれの防災に対する自覚と協力が必要です。

避難警報下の心得

サイレンはけられたまじく一分間かくに、警報は流れます。

丈夫な赤ちゃんを

19日から一斉検診

生まれた赤ちゃんは、大切に丈夫な赤ちゃんを育てたいという心がけで、赤ちゃんの健康状態をみたり、育児上の相談もたいたいと思えます。

川越市工業の推移

高度成長の製造業

川越市の製造工業の推移を工業統計調査結果にもとづいて昭和30年(隣村9カ村合併)を基準としてみますと下表のとおりです。

昭和30年は708工場で6年後の昭和36年は732工場で3.4%の増加です。次いで従業者数では昭和30年が6,628人であつて、同36年では10,454人となり57.7%の増加となつています。

Table with 6 columns: Year, Number of Factories, Number of Employees, Output Value, etc. for 1955-1961.

農薬空中散布のお知らせ

近よるとキケンです。いもち病防除のため、ヘリコプターで次のとおり農薬(水銀剤)の空中散布をいたします。

- 日時 8月21-23日の3日間
午前9時ごろから10時ごろまで
◎ただし天候等により変更することがあります。



雁見橋が完成

木橋が35年にこわれ、不便をきたしていた東川川越越生線にかかる雁見橋は鉄道コンクリート永久橋で完成し、この竣工式が、7月18日行なわれました。

日誌 8月21-23日の3日間
午前9時ごろから10時ごろまで
◎ただし天候等により変更することがあります。

電気にはこんな注意を

- 1、傷んだコード、スイッチ、ソケットは感電や火災のもとになるので取替えましょう。

明らかに楽しい歌でできる

上久下戸生活改善クラブで 上久下戸生活改善クラブの歌

新しい霊柩車がお目見え

いままでの霊柩車が老朽のため、市ではこのたび、新しく霊柩車を導入し、さる八月二日(写真)を搬入し、さる八月二日から使用しております。



アオバが市内にも発生

アオバは、ことし市内藤間、小仙尾端の二節が黒で羽根は胸部に波帯近所付近、藤間町、末広町三丁目などに発生しました。

もし虫がつかつたら、たにかないでやわらかい紙やガーゼで上からつまむようにして取るようにします。

石原町に公民館
旧石原町(会長武定雄氏)が久しく希望していた公民館は、三月から建設にかかっていたが、全町民の協力でのほど完成しました。